

護持会費／13,000～20,000円(3種類あり)
●事業主体／宗教法人安養院●納骨堂経営
許可番号／品保生環第94号●広告有効期
限／平成26年3月末日

しても最適。
が守られる
人気が高く、
都心で墓地
度見学を。

料請求
株式会社
95・100
uryoen.or.jp

理費／6,000円～30,000円●事業主体／宗
教法人 長尾寺●販売代行／松戸家株式会社
●経営許可番号／川崎市指令健安第3101号
●広告有効期限／平成26年3月末日

ぶことが可
工事代を含
完成セット墓
込み)からの
死中。
お伝えください。
48・995
tudo.co.jp

円より、夫婦墓(17年間)60万円より●
年間管理費／家族墓10,000円、夫婦
墓5,000円●事業主体／真英寺●広
告有効期限／平成26年9月末日

々のお墓では
お墓に入りた
すめ。また、
も永代にわた
で、「子ども
でも安心。
問で生前契
料請求
39・738
ejiji.jp

広告特集 企画・制作 朝日新聞社広告局

アンケート & プレゼント

武藤 頼胡さん監修
『終活準備ノート』をプレゼント
(広告主提供)



資料を希望された方の個人情報は、該当広告主に提供され、各広告主から資料が送られます。あらかじめご了承ください。

アンケート

1. お墓の購入を考えたことがありますか?
①検討中 ②いずれは必要 ③考えたことはない ④すでに購入済み
2. すでにお持ちの方も含め、お墓を購入する際重視する条件は?(複数回答可)
①価格 ②区画面積(㎡以上) ③管理が行き届いている ④設備の充実度
⑤周辺環境が良い ⑥出身地域に近い ⑦後継者の住居に近い
⑧その他(具体的に:) ⑨特になし
3. どのようなお墓の形態をお考えですか?
①一般墓地・外墓地 ②納骨堂 ③永代供養墓 ④樹木葬などの自然葬
⑤その他(具体的に:)
4. お墓について知りたいことや思うことなどをご自由にお書きください。
()
5. 本特集の広告主について、資料をご希望でしたら番号をご記入ください。(複数回答可)
①ひかり陵苑 ②川崎清風堂園 ③真英寺 ④東長寺緑の会 ⑤真光寺緑の会

応募方法

郵便はがき・FAX・インターネット(パソコン・携帯電話)のいずれかで応募ください。
【はがき・FAX】郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・職業・電話番号を明記のうえ、アンケートの答えを書き添えて応募ください。
(はがき)〒104-8665 東京・晴海郵便局私書箱303号
朝日新聞東京本社広告局「お彼岸企画」係
(FAX) 03-5972-6634 (「お彼岸企画」係と明記してください)
【インターネット】<http://www.asahi.com/e-post/>
●締め切り 3月24日(月)必着
●発表 当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
※アンケートに記入もれがある場合は、ご請求にお応えできない場合があります。いただいた個人情報はプレゼントの発送に利用いたします。また、各広告主の資料を希望される場合、個人情報の利用目的の詳細については各広告主のホームページでご確認ください。その際、お寄せいただいた個人情報は各広告主の責任において管理いたします。



お墓をもつということ

終活カウンセラー協会代表理事
武藤 頼胡



「お墓が残っていたんです、しっかりと。うちの墓は遠くからでもすぐわかるんですよ」

宮城県牡鹿郡女川町の仮設住宅を訪ねたとき、開口一番50代の女性が私に話をしてくれました。その女性はお墓がしっかり残っていたことが不幸中の幸いだったとききりにおっしゃった。壊れていないから費用が掛からないという意図ではなく、「ご先祖様にお参りできる、いつでも会える」という喜びを私に教えてくれました。

昨今、終活カウンセラー協会にもお墓の相談が増えてきました。核家族化が進み、生まれた場所で死ぬということが減り、自分の死後のお墓の継承に不安が高まっていることが背景にあります。でも相談内容がはつきりしていることは少なく、お墓のことではあるが自分の気持ちをどう話して良いのかわからないという方も多いです。そのよ

うな方の話を整理していくと、今後ご先祖様は誰が守っていくてくれるのか、そして自分がいずれ死を迎え先祖となるとき、どうなっているのだろうかという心配が強く見えてきます。お墓の継承は子や孫への負担がかかるという家族に対しての愛情や思いがある一方で、でも「しっかりと守ってもらいたい」という気持ちもあり、どうして良いのかわからないという方も多いです。

そんなときは、まずはお彼岸を機に、お墓参りに家族で行ってみるのもひとつの方法だと思います。ご先祖に手を合わせることで、墓の大切さを実感してもらえ、墓の形勢でしょう。今はたくさんのお墓の形態がありますが、手を合わせることで実感する様々な気持ちは共通だと思っています。私も、ご先祖様あつての自分であることを忘れないでいたいと思います。

Profile

むとう・よりこ／1971年生まれ。一般社団法人終活カウンセラー協会理事、明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学科外部講師。終活カウンセラーの生みの親。「終活」という考えを普及するべく、全国の公民館や地域包括支援センター(行政)でのセミナー講師を担い、一人一人に「終活」を伝えている。